



大野北公民館利用協通信

2019 年度前期分

◆第38回 公民館まつり(6/21-23)特集◆



ワンダフル！公民館まつり

実行委員長：安達和夫（歌を楽しむ会）

公民館まつりは、日頃の活動成果を発表する最大のステージ、今年も83サークル、団体に参加して頂き、屋内、屋外の事業とも、盛大に、楽しく行うことが出来ました。3日間を通じての来場者は、約四千名という賑わいでした。日程の都合で、毎年参加していた幾つかのサークル、団体は参加できませんでしたが、今年初めて参加するサークルもあって、公民館での多様な学習活動にあらためて感動しました。しかし総体的には参加者の漸減傾向は否めません。若い方々の参加も含め、より多くの方々が参加できる工夫も、今後の課題かと思えます。このまつりの開催にあたって、長期間にわたり、準備から最後の片付けまで関わって頂いた、多くの方々に厚くお礼を申し上げます。



切り絵コーナーより



ダンスコーナーより

屋内部門より：河西 松枝（ニュースイング）

受付、飲食販売など入数要領配置良かった。
来場者カウントは簡単で良い。お手伝いの人の荷物置き場に毎年苦慮する。館区外の人が芸能のつどいに参加したいと言ってきたが、参加者が減少している昨今この対処法は？

ゴミの持ち帰りを、何回かの会議でその都度お願いしておいた方が良い。

玄関で「傘立てに」という呼びかけやバケツの配置も良かった。

準備、片付けなど年々要領よくできるようになって良かった。

桜美林の学生さんには感謝する。

音楽のつどい部門より：伊野部 愛子（童謡・愛唱歌の会）

出演団体が少なかったのが残念でしたが、オープニングの全員合唱からバラエティーに富んだ団体が楽しそうに日頃の成果を発表して終始和やかな雰囲気でも落ちて演奏していました。大変良かったと思います。又、雨にもかかわらずお客様もいらして下さり嬉しい限りでした。最後迄、沢山の方が居て下さってエンディングの合唱も三曲歌うことが出来、全体的に良かったと思いました。来年は、沢山のサークルの出演を期待致します。



音楽のつどいより

学習会より報告：緒方祐美（GALAX-SING）

今年の学習会は初の試みで、まつりの間に2回の学習会を実施しました。

①「地域防災を考えよう『もしも…』が我が家に!？」

第一部は防災トランププレイリーダーの長沢さんをお招きしてトランプを用いて遊びながら身近にある危険を考えました。様々な危険な状況が記されたトランプで遊びながら、災害の経験談や考えられるリスクなどを発表していくのですが、盛り上がったのがゲームの方。発表した内容よりも、ゲームで盛り上がった思い出の方が残っているかもしれませんね。

第二部は平和委員会の市川さんをお招きして、相模総合補給廠についてのお話をいただきました。2015年の補給廠内での爆発火災、2018年のミサイル司令部配備についてを中心に、写真や補給廠内部の地図などを用いた説明により、米軍基地が近隣に存在することの危機やリスクについて考える機会となりました。

②「地域で育む子どもたち」

家庭、学校、地域での子どもたちの教育についてを学びました。話し手は小川公民館長。前半は元教員である館長に学校教育についてをお話いただき、後半は参加者皆さんでの情報交換タイム。現役小学生のママからじいばあば世代まで幅広い世代の方にご参加いただいていたので、子どもたちを取り巻く現状や地域の方々にお手伝いして欲しいことなど、様々な情報が飛び交う時間となりました。

講師の皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



学習会より



マジックに目を輝かせる
子どもたち

キッズ部門より：柴田 孝子（おやこ劇場）

今回も子どもたちが楽しく工作出来るキッズコーナーで、レインボースコープ・紙コップけん玉・クラフトビーズ等を体験してもらいました。レインボースコープは、トイレトペーパーの芯を使って簡単に出来る工作ですが、画びょうで開ける穴の形や数で光が微妙に変化して完成した時の満足度は、思った以上の反応で!! 教える甲斐があります。同じ物を作っても子どもによってひとり一人個性があってどれも世界に一つの素敵な作品です。小さな子どもには、ハサミやセロテープが初めての体験でもあり、作ることが楽しい事だとみんなに思ってもらえたら嬉しいです。

キッズ部門より：近藤 巧（大野北囲碁愛好会）

囲碁愛好会がキッズコーナーに参加して3年目となる。最初は囲碁を基本に広める事を考えていた。だが全然人は集まらない。今回は1階での広場での工作や遊びにも参加し、臨機応変を目指しやった。やはり的中で有る。工作は物を生み出すにピッタリのもので有る。先ず何を作りたいから始め最初の子は客船を作った。次は帆かけ舟。良く出来たのは戦艦大和でした。今回は楽しかった。キッズの目の色が輝いているのが判る。囲碁は猪突猛進では駄目で工夫を取り入れて奇想天外が生まれる人が強いと思います。これは人生に於いても同じで例えば私は自動車製造技術に関連した特許を多く取りました。



キッズコーナーより

キッズよ奇想天外を見つけよう！



芸能のつどいより

芸能のつどい部門より：熊倉 伝枝（あかり会）

北公民館まつりは今回で2回目の芸能の部で出させて頂きました。私は新舞踊を習ってまして、仕事は会社の事務員をしています。高齢になっても再雇用でフルタイムで雇って頂けたので仕事に踊りに充実した毎日を送っています。習っている踊りを披露する場を与えて頂き北公民館まつりでは、和気あいあいと助けあい楽しく出させて頂く事が出来ました。皆さんにお礼を申し上げたい気持ちでいっぱいです。今から次の事を考えるととても楽しみです。来年の事を言うとう鬼が笑うといいますが、来年も元気で踊りたいと思っています。

役員の皆様、大変ありがとうございました。

屋外・屋外ステージ部門より：桑原 均

今年も3日間にわたり公民館まつりが開催され、各サークルの皆さん、実行委員、公民館職員さん等のご協力により滞りなく出来たと思います。

2日間と最終日の屋外・屋外ステージは模擬店等のテント張りから始まり、片付け、駐車場、駐輪場整備まで、大勢の方のご協力で無事に出来ました。

その中、今年も桜美林の学生の皆さんにはテントの設営、撤収から、最後の会場内の展示物、パネルの片付けまで、ご協力を頂き大変助かりました。

お礼を申し上げたいと思います。

最終日は天候が心配でしたが、屋外ステージが無事に出来て大変良かったと思います。

また、ゴミの回収の問題もありましたが、この場をかりお詫び申し上げます。

最後におおのきた公民館まつりの益々の繁栄を期待します。



桜美林大学エイサー

屋外ステージより



展示コーナーより



展示部門より：滝 克雄（家庭倫理の会）

第38回おおのきた公民館まつり展示部門から感想を発表させて頂きます。今年度の屋内展示部門への参加サークル数が少し減りある会場でさびしさを感じた会場もありましたが、展示サークル会員様の協力を得て3日間無事開催出来た事に感謝申し上げます。特に体験教室を実施され多勢の参加者が体験出来た事は今後も続けて頂ける事を希望します。又他のサークル部門も展示方法を工夫して魅力度向上に努める事を要望します。反省点は展示場所の決定に不満が残るサークル部門もあるので次回は参加サークル実行委員とで事前打ち合わせをしっかりと行ない、了承を計りまつりを盛り上げたいと考えます。今回無事に完了出来た事に深く感謝申し上げます。

チャリティ募金、有難うございました！（利用サークル協議会）

皆様から物品をご提供頂いた利用協バザー、売上金 55,570 円(内売却金 370 円)をあげることが出来ました。うち 5,000 円を災害義援金に拠出し、残額は利用協の運営資金として活用させていただきます。有難うございました。

災害義援金募集結果のご報告(まつり実行委員会)

今年も8回目の義援金募集を行い、総額 37,507 円の募金を頂くことが出来ました。内訳は、模擬店等に参加頂いたサークル・団体(スポーツ推進委員会、ゆうゆう押し花、青少指、絆の会、カロチャ、わかな会 大野北、ふちのべ星援隊、利用協バザー、まつり実行委員会/飲物、軽食販売)、募金箱へのご提供分です。
この義援金は熊本県(熊本地震)、北海道(胆振東部地震)に、ほぼ等分して送付させていただきました。有難うございました。

編集後記

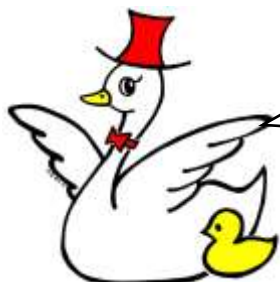
今回の公民館まつりは、胸の熱くなる、また、初心に戻らせてくれたまつりでもあった。それぞれ思うところはあっても、成功を願う気持ちは皆同じならば、お互いをもっと思いやれるのではと。
お安く提供してくれる模擬店の品々を口にほおぼりながら、「感謝感謝」とただただつぶやく。



あーがっし
1つもまつりだ



公民館まつり後、皆さんと



でいらちゃ

今回の公民館まつりの模様は、下記の動画で配信しております。是非、ご覧ください。



総集編 屋内編 屋外ステージ 音楽のつどい 芸能のつどい